

オーラム・インターナショナル (OLAM)

サプライチェーン事業に注力、追加投資を継続する計画

フィリップ証券株式会社

シンガポール | 農業 | 業績レビュー

BLOOMBERG OLAM:SP | REUTERS OLAM.SI

- 2017/12 期 1H (1-6 月) は、販売量が前年同期比 38.7%増の 893.9 万トン、売上高が同 26.5%増の 123.24 億 SGD となった。また、純利益は同 27.5%増の 2.91 億 SGD となった。
- 主力の食品事業は、3 事業のうち 2 事業で EBITDA は前年同期比大幅増益となった。主力の食用ナッツ、香辛料&野菜事業と食品&加工食品事業が好調で、非食品事業が小幅増益となった。
- 2017/12 通期の市場予想は売上高が前期比 2.6%増の 211.20 億 SGD、純利益が同 3.8%減の 3.38 億 SGD と増収減益の見通しであるものの、2018/12 通期は増収増益となる見通し。

What is the news?

2017/12 期 1H は、販売量が前年同期比 38.7%増の 893.9 万トン、売上高が同 26.5%増の 123.24 億 SGD となった。EBITDA は同 19.1%増の 7.72 億 SGD、営業利益が同 23.6%増の 2.97 億 SGD となった。また、オペレーションの改善、税金や特別損失の減少から、純利益は同 27.5%増の 2.91 億 SGD となった。

1H の事業別 EBITDA は以下の通り。食用ナッツ、香辛料&野菜事業は、前年同期比 42.4%増の 2.55 億 SGD となった。トマト・ペーストの販売量が落ち込んだが、ピーナッツやカシューナッツの販売数量は拡大した。菓子&飲料事業は同 5.5%減の 1.86 億 SGD と低調。高付加価値のココア製品が市場の競争激化により市販価格低下で値下げとなり利益を押し下げた。一方、コーヒー販売の拡大が一部を補った。食品&加工食品事業は同 31.5%増の 2.17 億 SGD と好調。小麦精製量が増加し寄与した。また、穀物、米、砂糖、日用品の販売数量が拡大した。非食品事業の工業原材料・ロジスティック・インフラストラクチャーは同 1.2%増の 1.06 億 SGD となった。

How do we view this?

同社は長期的な見通しとして、アグリ・コモディティセクター（農業・商品）は魅力的な事業であり、同社は付加価値の高い川上から川下を統合したサプライチェーン事業を展開しており、利益を獲得できるポジションにあると見ている。2018 年に向けて戦略的な投資を継続していく意向。2017/12 通期の市場予想は売上高が前期比 2.6%増の 211.20 億 SGD、純利益が同 3.8%減の 3.38 億 SGD と増収減益の見通しであるものの、2018/12 通期は増収増益となる見通し。

業績推移

※参考レート 1SGD=83.20円

事業年度	2014/12	2015/12	2016/12	2017/12F	2018/12F
売上高(百万SGD)	19,772	19,052	20,587	21,120	21,522
純利益(百万SGD)	591	-64	351	338	446
EPS (SGD)	0.23	-0.03	0.11	0.10	0.14
PER(倍)	8.78	-	18.36	20.20	14.43
BPS (SGD)	1.71	1.73	1.64	1.70	2.03
PBR(倍)	1.18	1.17	1.23	1.19	1.00
配当 (SGD)	0.05	0.06	0.06	0.05	0.05
配当利回り (%)	2.48	2.97	2.97	2.48	2.48

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

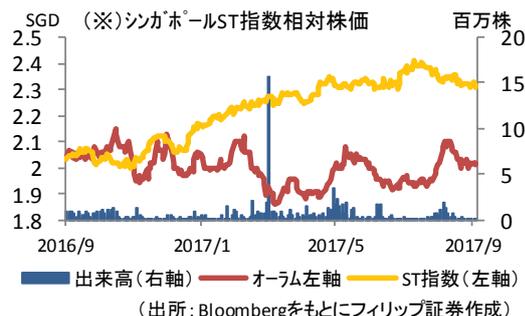
配当予想 (SGD) **0.05** (予想はBloomberg)
終値 (SGD) **2.02** 2017/9/20

会社概要

1989年に農産物の輸出業務を中心にナイジェリアで設立し、一時ロンドンに移転し、1995年に他社との合併を通じ、業務を拡大した。1996年に本社をシンガポールに移転、事業エリアがさらに広がった。農産物商社として農産物および食材の加工、供給をグローバルに行う。世界65カ国で事業を展開し、カシューナッツ、スパイス、野菜、ココア、コーヒー、米、綿、木材など44種類の商品を取り扱っている。

企業データ (2017/9/20)

ベータ値 0.75
時価総額(百万SGD) 5,469
企業価値=EV(百万SGD) 18,142
3ヵ月平均売買代金(千SGD) 677.19



主要株主 (2017/9)

(%)
1. Temasek Holdings 52.12
2. Mitsubishi Corporation 20.28
3. Orbis Allan Gray 7.81

アナリスト

袁鳴
ming.yuan@phillip.co.jp
+81 3 3666 0707
庵原 浩樹
hiroki.ihara@phillip.co.jp
+81 3 3666 6980

オーラムインターナショナル(OLAM)

2017年9月21日

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹
フィリップ証券 リサーチ部 アナリスト 袁 鳴

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。